

2015 年度

第 3 回

名古屋市生徒会サミット

年間報告書



- 主 催 NPO 教育支援協会東海
- 共 催 名古屋市教育委員会
- 後 援 名古屋市立小中学校校長会

ごあいさつ

名古屋市生徒会サミットも3回目の開催を終え、今年度は、名古屋市中学生生徒会役員の皆さんと名古屋市議会議員（藤沢ただまさ議長様、並びに小川としゆき副議長様）との懇談会も開催し、和やかな雰囲気の中でも闊達な意見交換をすることができました。また、守山中学校の実践を取材し、サミット参加校にご紹介をさせていただくことができました。

これもひとえにご支援並びにご協力をいただきました名古屋市教育委員会様、名古屋市立小中学校校長会様、地元企業協働パートナーの皆様、そして、ご参加いただきました各中学校様のお陰であると厚くお礼申し上げます。

ふるさとを大切に思い、利他の精神をもってふるさとのために貢献する、そのためには「自分は独りではない」という「絆」を胸に行動できる「日本の未来を担う青少年」を育成すべく、このサミットを末永く継続する所存です。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年2月18日

NPO 教育支援協会東海

代表理事 本多 功

名古屋市生徒会サミット 2015 概要報告

■日時 2015 年 9 月 19 日（土）10:00 開始 17:20 終了

■場所 イーブルなごや2階視聴覚室

■テーマ 地域貢献「地元をもりあげるアクションプラン」

■参加校 16 校 70 名（順不同）

大曽根中学校 守山中学校 守山東中学校 志段味中学校 高針台中学校

八王子中学校 山王中学校 山田東中学校 田光中学校 助光中学校

東星中学校 上社中学校 東港中学校 志賀中学校 萩山中学校 御田中学校

■ファシリテーター

・大学生ファシリテーター

学生団体 STUNITY 山縣 広晃 （東京都）

学生団体 STUNITY 藤塚 一起 （東京都）

教育支援協会 秋山浩器 （横浜市）

・中学生ファシリテーター

守山東中学校 本間結衣 山田泰暉 三田章乃

守山中学校 岡田磨奈 辻さくら 西尾太一

山田東中学校 野口紗依 福谷聡太

八王子中学校 新田海斗

田光中学校 原悠貴

助光中学校 鈴木あいか 岡村美吹

■内容

時間	内容
9:30	<u>受付開始</u>
10:00	<u>オープニングセレモニー</u> ・映像「STAND UP」 ・主催者あいさつ 教育支援協会東海代表 本多功 ・アイスブレイク
10:40	<u>熟議1部開始</u> テーマ「地元をもりあげるアクションプランを考えよう」 (取り組んでみたいプランを話し合い、まとめる。)
12:00	昼食休憩
12:50	<u>1部の発表</u> 熟議1部で考えたアクションプランを全体にプレゼンする。
13:30	<u>熟議2部開始</u> テーマ「アクションプランを練り上げよう」 (グループ毎で再度アクションプランを練り上げる)
15:20	<u>2部の発表</u> テーマ「名古屋市の中学生生徒会が協働してできる地元もりあげアクションプラン決定」 (熟議2部で練り上げたアクションプランを発表。 ⇒投票により、協働アクションプランを1つ決める。)
16:50	<u>エンディングセレモニー</u> ・講評 京都造形芸術大学教授 寺脇研氏 名古屋市議会議員議長 藤沢ただまさ氏 ・集合写真 ・事後アンケート
17:20	<u>終了</u>

本年度の生徒会サミットでは、大テーマ「地域貢献」のもと、「地元をもらあげ
るアクションプラン」をテーマに、協働してできるアクションプランを作成し、発
表しました。およそ7時間に及ぶ熟議と発表でしたが、どのチームも発想豊かで、
しかも非常に内容も充実したアクションプランを作成することができました。発表
後に協働してできるアクションプランは、「未来発展講座 地域清掃・防災」に決
定し、サミット後の実践に結びました。



＜各班の発表＞

■A班「チュー祭」

中学生主催の祭りをを行う。場所は久屋大通り。様々なコーナーを設けて、名古屋市の中
学校合同イベントとして開催する。コンセプトは名古屋が抱える問題を祭りで中学生が
一気に解決する。

■B班「名古屋市サミットフェスティバル」

場所は公園。多様なジャンルのブースを設けて
開催する。
コンセプトは、やりたいこと、解決したいこと、
全てを「楽しく」実行できる祭り。



■C 班「地域との交流」

地域との交流で問題解決。地域のお祭りに参加したり、防災訓練に参加したり、ゴミ拾いに参加する。その提案を生徒会から全校、地域に発信する。

■D 班「心響—どえりゃ〜Smile」

地域との交流を目指し、地元を知る。公園や学校のグラウンドでイベントを行う。地域の人たちと作り上げる。「心響」のレタリングは名古屋市を表現。

■E 班「LINK FESTIVAL」

地域の結びつきを強くしたいという目的で祭りを開催する。特産物の試食コーナーを設けたり歌も作成したりして、特に若い世代にアピールする。

■F 班「三本柱プロジェクト」

地域の三本柱運動を行う。三本柱とは、防災・環境・防犯。具体的にはマップ作りや牛乳パック回収、交通事故などの体験談を聞いたりする。

■G 班「未来発展講座 地域清掃・防災」

防災訓練を一つの町で、大規模に行う。また、全学年、地域を巻き込んで清掃活動を行う。一見地味な活動だが、一斉に清掃活動をすることは実行可能で生徒会サミットの意義でもある。

■H 班「Keep Problem Try」

美化活動に焦点をあてて、今までの、継続・問題から、TRY！＝新しくやることを目指す。そして一つひとつ問題をピックアップし実行する。

■I 班「命に関するイベント」

命を考える機会を作る。命のアサガオ、命の詩集、老人ホーム訪問（花束・かるた）また、心肺蘇生法についても学ぶ。そういったイベントを体育館にて行い、人を巻き込んでいく。

■J 班「フェスティバル JHS」

CAP でエコアート。名古屋出身のアーティストを招く。名物コーナーやアンケートスペースを儲ける。目いっぱい楽しんでもらい、名古屋を盛り上げる。



(全員で記念撮影 平成 27 年 9 月 19 日)

中 日 新 聞

2015 年 (平成 27 年) 9 月 20 日 (日曜日)



地域貢献へ生徒会が提案

市内17中学の役員らサミット

名古屋市中中学の生徒会長ら 革新的なアイデアを生み出せが一堂に会し、地域貢献へのアイデアを育成しようとして、二回目を話し合うNPO教育支援協会東海の「市生徒会サミット」が十九日、中区大井町のイーブルなごやで開かれた。

市内の十七中学校の生徒会役員七十二人が「生徒会として行える地域貢献」をテーマに班に分かれて議論を深めた。

上社中二年の小出淳君(男)は、名東区Ⅱの班は、中学生による地域の祭り「チュー祭」の主権を提案。久屋大通公園を会場に、みそ煮込みや手羽先などの名古屋名物を販売するブースを設けるほか、会場で交通事故防止や環境問題について啓発する案を披露した。(奥村圭吾)

生徒会として行える地域貢献について発表する生徒らⅡ中区大井町のイーブルなごやで

名古屋市中区生徒会サミット

参加校生徒会役員と名古屋市議会議員との懇談会

■日時 2015年12月24日(木) 10:00開始 12:00終了

■場所 名古屋市役所

■参加校 9校 29名 (順不同)

田光中学校 山田東中学校 高針台中学校 守山東中学校 萩山中学校

志段味中学校 八王子中学校 志賀中学校 守山中学校

■参加者：名古屋市立中学校生徒会役員 29 名、及び引率の先生方

名古屋市議会 議長 藤沢ただまさ 様

名古屋市議会 副議長 小川としゆき 様

名古屋市教育委員会 指導室長 三浦友久 様

NPO 教育支援協会東海 代表理事 本多 功

■企画・進行 NPO 教育支援協会東海・専務理事 西尾真由美

■内容

10:00	開始 ・主催者挨拶(趣旨説明)
10:10	・自己紹介 話題1) サミットの振り返りから、その後の実践や、自分の地域貢献への考えの 変化などの発表
10:30	話題2) 未来の名古屋がどうなっているといいと思う？ (防災の強化 地域のつながり いじめのない学校や社会 環境の整備など)
11:00	話題3) 名古屋市議会議員のお二人に聞いてみたいこと
11:15	集合写真
11:30	市議会議長室・応接室・議会場を見学
12:00	解散

■開催経緯及び概要

平成 27 年 9 月 19 日(土)に開催いたしました「第 3 回名古屋市生徒会サミット」に、藤沢ただまさ先生（現名古屋市議会議長）が応援にかけつけてくださり、名古屋市の生徒会役員の皆さんの熱い熟議、並びにアクションプランの発表をご覧いただきました。最後の講評において藤沢先生から参加者に熱いエールをいただき、「名古屋市議会としても若い皆さんの力になれることができれば是非協力したい。」とのお言葉をいただきました。そこで、生徒会役員と名古屋市議会議員との懇談会を開催したい旨藤沢先生にお願いしたところ、小川としゆき副議長とともにご快諾いただき、懇談会の場をつくることができました。

当日は、名古屋市の中学生生徒会役員（29 名）と、名古屋市議会議員が同じテーブルにつき、まず、生徒会サミット後の活動や、考えの変化などを生徒会役員の皆さんにお聞きし、その後「名古屋市の未来がどうなっていると良いか？」をテーマに懇談しました。和やかに開始した懇談会は、未来の名古屋に話題が移ると、生徒の皆さんの闊達な意見交換が続き、議員の方々も大変感心しておられました。藤沢ただまさ議長並びに小川としゆき副議長も、中学生の生徒会役員の皆さんに対し、ご自身が行き組んでおられる内容や、将来の名古屋に対する熱い思いを真剣に語ってくださいました。また、懇談会終了後には、議長室や応接室、そして議会場もご案内いただき、生徒会役員の皆さんも大変喜んでいました。

このような貴重な場を設けていただいた藤沢ただまさ先生、小川としゆき先生、並びに名古屋市教育員会の先生方に深く感謝申し上げます。

■主な意見（抜粋）

<サミット後の自分>

●守山中学校

自校の実践では、「守山小学校学区学ぼう祭」でブースを出して、非常時を想定して新聞紙による「紙製食器づくり」を行った。また、近くの生協とのコラボで、突然の災害が起こったらどうするということで、陸前高田へ行った報告や、保健委員会による学習報告、震災を受けた人の話など、またじゃがりこを使ったポテトサラダなど非常食づくりも行った。

●高針台中学校

サミット後、個人的にごみ拾いだけでなく他のことで自分たちがどんな地域貢献をすることができるのかと考えるようになった。

●田光中学校

自分は防災訓練などを一日で大きなかたまりとして全体で行うことが大事と思っていた。しかし、毎日の積み重ねがとても大切なことと、心の底から思えるようになった。

●八王子中学校

自分は生徒会サミットに参加して、学校や塾に行く時など、周りの見方が変わった。ごみが落ちていると心が痛く、自分からごみが拾えるようになった。

<未来の名古屋がどうなっていると良いか？>

●志段味中学校

まず、明るくしたい。それには、きれいな街であること。ごみを拾い続けていくことが大事。名古屋といったら・・・名古屋名物をより広めていけるとよい。区単位で物や食べ物などで名物を生み出していけるといいのでは。

●高針台中学校・田光中学校

全国多くの人たちに名古屋を好きになってもらう。そうすれば、多くの人が訪れて、人を呼び込むことができる。それには、観光地・・・自然、歴史、商店街例えば横丁を作る。なごやめしをもっと身近なものに。できることいっぱいあると思う。また名古屋から人が出て行かないように、観光に加えて「子どもの教育」が重要。名古屋を教育日本一の場所にしたい！

●三浦指導室長

自分はこの名古屋が大好き。皆さんも名古屋のいいところを他の人々に言えるようになってほしい。名古屋の教育を日本一にできるようがんばりますよ！

●本多功 → 藤沢議長・小川副議長へ

名古屋が教育日本一の街となれるよう、教育にもっとマンパワーとお金（予算）を掛けていただけるよう市議会もがんばって協力してほしい。

●守山東中学校

自分たちは今とても幸せだと思う。自分たちの子どもたちも名古屋で幸せに生活できるよう、また夢を持ってやりたいことができるようになるとよい。

●萩山中

現在は車が多く、空気が汚れているので、空気の浄化を。それには、電気自動車をもっと普及したり、道路沿いにもっと樹木を植えたり、タバコ禁止の条例を作ったりしたらいい。空気そして人の心をきれいにするのが、名古屋がきれいな街になること。また、教育の充実を！今、塾に行かないと勉強がわからない生徒が多いと思う。先生方もやらなければならない事が山積で、ある種ブラックな環境かと思うけれど、人材こそが大切な資源なのでがんばってほしい。

●藤沢議長

学校の先生のことが話題になった。塾に行かなくていいというのが理想。先生方がなるべく授業に集中してもらえるようにしていきたい。皆さんは恵まれている。日本は自由にものが言える素晴らしい国。これからいろんな行事に参加し、たくさん議論を積み重ね、みんなで更に良い名古屋をつくろう。

●志賀中学校

未来の名古屋は「いじめのない街に」。人と人とのつながりや結びつきをもっと強くしていきたい。地道なことからつなげていけばいい。

●守山中学校

- ・近所によく事故が起こる場所がある。横断歩道や信号など交通の環境整備が必要。
- ・大企業の力でスポーツをやる場所（テニスクラブがつぶれ、コート）がなくなった。大企業に押されないようにしてほしい。
- ・今以上に活気ある街にしたい。イルミネーションやプロジェクションマッピングなど、特別に盛り上げる工夫をしたらいいのでは。
- ・名古屋港は工業面では日本一だが、大きな旅客ターミナルがないので、大きな客船がつかない。名古屋港をもっと観光できる場所にしてほしい。
- ・名古屋めしを食べて、名古屋が一周できる列車があるといい。
- ・栄の裏の路地は、ごみがすごい。ごみがあると雰囲気が悪くなり、観光に影響する。もっと観光地の魅力を打ち出し、外国人の招致を。

●小川副議長

アメリカの心理学者ジョージ・ケリングが提唱した「割れ窓理論(Broken Window Theory)」は、「建物の窓ガラスが割れたまま放置されていると、管理人がいないと思われ、凶悪犯罪が増える」というもの。そこで、ニューヨークのジュリアーニ市長は、地下鉄の無賃乗車や落書きを「割れ窓」に見立て徹底的に取り締まった結果、劇的に犯罪が減った。1枚目の窓を割るのは心理的負担が大きいけれど、1枚がすでに割れていると、2枚目以降は心理的負担が激減する。ゴミ問題も一緒だと思う。わずかなゴミを放置しないことがきれいな街づくりにつながる。みんなでその一歩を踏み出そう！

●山田東中学校

- ・名古屋の評判を悪くしたくない。それには、やはりごみが気になる。ごみを捨てる人を減らしたい。スイスは歩きタバコやポイ捨ては罰金制だ。
- ・勉強も塾へ行かなくてもわかるようにしてほしい。例えば、TVやラジオを使った補習授業を行ったり、スマホの動画機能を使って授業のポイントを示すなどをすれば、塾に行かなくてもキャッチアップできる生徒が増えると思う。
- ・ドラゴンズやグランパス、オーシャンズなど、名古屋にはプロスポーツチームがある。例えば繁華街や名古屋駅にグランパスのポスターとか全然貼られていない。観光資源の中でも、特にスポーツをもっと取り上げてほしい。

●藤沢議長

今日は中学生の皆さんから大変刺激を受けた。これからの議会審議の場で、少しでも皆さんの意見を生かしていきたい。いっしょにがんばろう！
また、こうした懇談会が1回きりで終わるのではなくて、是非続けてほしい。
いい地域、いい名古屋を作るために皆さんにもお力添えをお願いしたい。



藤沢ただまさ議長



小川としゆき副議長



三浦友久 指導室長



本多 功 教育支援協会東海代表



(議会場を見学)



(議会議長席にて)



全員で記念撮影（平成 27 年 12 月 24 日名古屋市役所にて）

生徒会役員、まちづくり提言

名古屋市立中 正副議長と懇談



活発に意見を出す中学生たち＝名古屋市役所

名古屋市の市立中学9校の生徒会役員ら約30人が24日、市議会の藤沢忠将議長

と、小川俊之副議長と懇談し、将来のまちづくりなどをテーマに意見を述べた。

NPO教育支援協会東海（本多功代表理事）が主催し、田光、萩山、山田東、高針台、守山東、守山、志段味、八王子、志賀の各校が参加。観光に力を入れるよう求める意見が相次ぎ、「いじめを無くそう」との声も。「東京は機械的に見える。名古屋は人が活躍する街にしよう」「名古屋駅には名古屋グランパスの『G』の字も見られない。スポーツをもっと盛り上げて」と次々に提言した。

藤沢議長らは「刺激を受けた。議会審議の参考にしたい。一緒に名古屋を盛り上げよう」と応じた。